

指摘は、新鮮な感銘を聴衆に与えた。

その後、足利健亮氏（歴史地理）と須藤宏氏（埋蔵文化財）が報告に立ち、福原の範囲や新都の条坊プラン、清盛の福原山荘の可能性もある祇園遺跡の発掘結果などを、具体的かつ明快に語った。最後は復興・街づくりと、地域の歴史や文化財の関係を考えるパネルディスカッション。時間の制約で十分な議論ができなかったが、永井さんが地元鎌倉を引き合いに出しながら、先人の営みを再生するための歴史資料や文化財が、地域社会にとって如何に重要かを力説されたのが印象的であった。

会場が満杯のうえ歴史的建造物のため冷房がきかないこともあり、講演会としてはかなりきつい環境だったが、参加者は最後まで熱心に聴き聞いていた。来場者（カウント分）は、462名。会場に展示した被災史料救出などのパネルも好評で、カンパも7万円ほど集まり、シンポ記録集なども約1万5千円の売り上げがあった。

（文責・藤田明良）

### 参加者の感想文から

☆当日参加された方からの感想文の一部を、ご紹介いたします。順不同。

★掲載にあたって、部分的に編集している場合があります。ご了承ください。

海津節子さん：はじめて参加させて頂きました。神戸で生活して30年余り、その間、大半を荒田神社付近で過ごしました。遺跡現地説明会にも参加させて頂きました。本日の講演がより身近な処であっただけに、大変興味深く聴講させて頂きました。永井さんの小説家としての歴史の考察、表面的な通り一遍の解釈しかない私には、興味深いお話でした。

勝部航吉さん：歴史遺産を大切に保存、維持管理するためにも、繰り返し色々な形で啓蒙することが必要と痛感する次第です。文化を大切に掛声だけでなく、税制面でもバックアップするなど具体化する必要があろう。講座をシリーズでぜひ続けていただきたい。

清田純男さん：若い頃から歴史に興味がなく、学生時代も苦手科目でしたが、カメラの趣味に熱が入るにつれ「歴史」を知っておればという

残念な思いが度々出て来ました。そういう「うつうつ」とした気持ちの中での大地震。今回初めての市民講座参加でしたが、遅まきながら生まれ育った土地の過去を勉強したいと思います。多田由宇子さん：身近な所でよく発掘作業を見る機会があったが、今回の講座を受けて、歴史的な重要性が理解出来たように思います。今後の生活につながる学問であることも感じました。新しい発見がありましたら発表して下さい。それが思い切った意見でも、良いと思います。住吉村周辺のことも聞きたいです。

長濱かず美さん：震災により家が全壊し、心身共に疲れ果てましたが、幾分ほっとした時に招待状をいただき、市民講座に参加させて頂いております。いにしえの世界を垣間みるように、永井先生のお話に聞き入りました。区画整理もなかなか進まない状態なので、今後の生活設計もまだまだですが、少し視野を広げて、今後の神戸の発展を市民の立場で考えたいと思います。古文書もわずかながら協力できたかなと思っております。震災を一つのバネにして、将来に向かって進みたいと思います。

花木叶滋さん：こういう歴史を中学校の教材にして教えると、受験オンリーの詰め込み教育の改善になるので、神戸市が率先してやったらよい。勿論六甲山の歴史や、源氏物語や大和物語なども加えてほしいし、三菱造船のストヤ川崎重工の栄光、鈴木商店の倒産、酒造業者が船舶業・銀行業・私立学校経営にも手を出していった経過も載せ、国際人の会社も加える（モロゾフやゴンチャロフなど）。移民を送り出したり、捕鯨船の出入りなど神戸の歴史は面白いと思う。

森田節子さん：永井先生の話、歴史を勉強し振り返る上で方向付けが得られました。中学生の時に大輪田の泊などについて勉強しましたが、現在はどうなっているのでしょうか。当時の記憶がよみがえり楽しく、また機会があれば受講したい、こういった話題について子供とも話し合ってみたいと思います。職場にいた頃、他府県からの訪問者に少しは歴史を話せたことを思い出し、懐かしく思いました。神戸市の歴史シリーズ、各区ごとの歴史紹介などを希望します。

森端知子さん：スライドは興味深かったが、説明の方はプレゼンテーションの仕方を工夫して、もう少し聴衆の興味を引くようにしてほしい。永井さんの講演は今回の目玉だけに大変良かった。